

## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7081 URL https://www.koyou.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅木 孝治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 渡部 泰行 TEL 03-5931-4203  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,205	—	371	—	366	—	199	—
2019年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 190百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	39.83	39.59
2019年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2019年12月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	14,840	5,143	34.6
2019年12月期	14,612	3,386	23.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 5,142百万円 2019年12月期 3,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結通期業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから、2020年2月13日に公表した連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	5,400,300株	2019年12月期	4,500,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	一株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	4,998,974株	2019年12月期1Q	一株

（注）当社は、2019年12月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第1四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
当第1四半期連結累計期間	6,205	371	366	199	39.83

当第1四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、当初、企業収益の回復や雇用環境の改善により緩やかな景気回復基調が続いておりましたが、2月以降新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や店舗等の営業自粛など経済活動が停滞する中、先行き不透明な状況が続いております。こうした中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、事業収益の確保に努めてまいりました。具体的には、高水準を維持する工事量を背景とした建設需要に支えられるとともに、オフィス市場の開拓に注力した結果、堅調に推移してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,205百万円、営業利益は371百万円、経常利益は366百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は199百万円となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算 書計上額
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
外部顧客への 売上高	3,899	1,071	1,234	6,205	—	6,205
セグメント 利益	257	28	84	369	2	371

(レンタル関連事業)

レンタル関連事業におきましては、建設現場向け市場において、首都圏における既存の大型再開発が竣工を迎えるにあたり、関連する付帯サービスなどの売上が進捗する一方で、引き続き稼働する現場へのICTサービスや再生可能エネルギーを活用した商品の拡販に注力してまいりました。イベント向け市場においては、新型コロナウイルス感染症の感染抑制に伴う政府・自治体からの各種イベント自粛要請により、マラソン大会など大型イベントの中止や規模縮小が相次ぐなど厳しい市場環境となっております。また東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も2021年に延期されるなど先行きが不透明な状況が続いております。一方、オフィス市場においてはイベント向け市場と同様、予定していた案件のキャンセルが発生したものの影響は限定的であり、テレワークの推進やサテライトオフィスの設置など企業の感染予防対策における新たな需要が拡大する中、積極的に活動してまいりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は3,899百万円となりました。また、セグメント利益は257百万円となりました。

(スペースデザイン事業)

スペースデザイン事業におきましては、各デベロッパーが用地取得価額の高騰などを背景に、大都市圏を中心にマンション販売戸数が低迷するなど市場環境は悪化傾向にあります。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、マンション市場においては予定分譲計画を延期する案件が増加傾向にあります。このような市場環境の中、マンション入居者向け家具等販売において受注の積み上げを図ることができました。

この結果、当事業セグメントの売上高は1,071百万円となりました。また、セグメント利益は28百万円となりました。

(物販事業)

物販事業におきましては、各官公庁や郵政関連施設の年度末需要に対し得意分野であるオフィス家具を中心に、付随する商品や発生する業務の包括的な提案を実施することで、受注の積み上げと利益率の改善を図ることができました。

この結果、当事業セグメントの売上高は1,234百万円となりました。また、セグメント利益は84百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加の14,840百万円となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ141百万円増加の6,796百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が441百万円増加した一方で、現金及び預金が203百万円、電子記録債権が141百万円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ85百万円増加の8,044百万円となりました。これは主に、賃貸用備品が121百万円、リース資産が50百万円増加した一方で、繰延税金資産が56百万円減少したこと等によるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,528百万円減少の9,697百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,310百万円減少の7,284百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が242百万円、短期借入金が700百万円、未払金及び未払費用が274百万円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ218百万円減少の2,412百万円となりました。これは主に、長期借入金が205百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,756百万円増加の5,143百万円となりました。これは主に、当社普通株式の東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）への上場に伴う新株発行により、資本金及び資本剰余金が782百万円ずつ増加したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が199百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が発表されたことに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした政府及び各自治体からのイベントの自粛要請の影響により、当社のイベント向けレンタルの需要は大きく減少しております。また、イベント向け以外の市場においても、緊急事態宣言による全国的な経済活動の縮小により今後の需要悪化が懸念されており、今後の動向次第では当社の業績への影響は避けられないものと考えております。

このように新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響に関して不透明な状況が続いていることから、現時点では合理的な業績予想の算定が困難であるため、2020年2月13日に公表いたしました業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただき、業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,915,093	1,711,675
受取手形及び売掛金	3,128,309	3,570,107
電子記録債権	564,871	423,693
商品及び製品	56,283	85,413
仕掛品	95,973	117,133
貯蔵品	27,971	55,576
前払費用	587,756	562,270
未収入金	261,434	250,404
その他	22,893	27,553
貸倒引当金	△6,190	△7,630
流動資産合計	6,654,397	6,796,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,181,970	1,156,782
機械装置及び運搬具（純額）	5,149	4,695
工具、器具及び備品（純額）	37,912	35,149
賃貸用備品（純額）	1,580,808	1,702,757
土地	3,785,871	3,785,871
リース資産（純額）	225,518	275,782
有形固定資産合計	6,817,230	6,961,038
無形固定資産		
ソフトウェア	94,680	101,322
その他	17,630	17,630
無形固定資産合計	112,310	118,953
投資その他の資産		
差入保証金	493,120	494,883
投資有価証券	113,070	96,636
繰延税金資産	325,701	268,963
その他	97,640	104,467
貸倒引当金	△854	△901
投資その他の資産合計	1,028,678	964,050
固定資産合計	7,958,219	8,044,041
資産合計	14,612,617	14,840,239

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,981,316	2,739,187
電子記録債務	865,974	822,175
短期借入金	1,700,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	820,004	820,004
未払金及び未払費用	550,143	275,241
未払法人税等	182,668	106,518
未払消費税等	228,003	130,997
前受金	381,059	444,069
預り金	133,220	67,352
リース債務	323,659	340,238
賞与引当金	413,879	538,716
その他	15,111	329
流動負債合計	8,595,041	7,284,830
固定負債		
長期借入金	1,309,986	1,104,985
リース債務	1,035,718	1,016,302
役員退職慰労引当金	86,548	92,594
資産除去債務	197,667	197,691
その他	822	735
固定負債合計	2,630,742	2,412,308
負債合計	11,225,784	9,697,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	872,720
資本剰余金	136,877	919,597
利益剰余金	3,129,191	3,328,288
株主資本合計	3,356,068	5,120,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,752	21,481
その他の包括利益累計額合計	29,752	21,481
新株予約権	1,012	1,012
純資産合計	3,386,832	5,143,100
負債純資産合計	14,612,617	14,840,239

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,205,485
売上原価	4,063,806
売上総利益	2,141,679
販売費及び一般管理費	1,769,711
営業利益	371,968
営業外収益	
受取利息及び配当金	720
受取保険金	3,603
その他	5,032
営業外収益合計	9,357
営業外費用	
支払利息	12,687
支払手数料	2,457
その他	69
営業外費用合計	15,214
経常利益	366,110
特別損失	
固定資産売却損	519
特別損失合計	519
税金等調整前四半期純利益	365,591
法人税、住民税及び事業税	101,593
法人税等調整額	64,901
法人税等合計	166,495
四半期純利益	199,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,096

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
四半期純利益	199,096
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△8,270
その他の包括利益合計	△8,270
四半期包括利益	190,825
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	190,825

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年2月7日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場いたしました。上場にあたり、2020年2月6日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行800,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ695,520千円増加しております。

また、2020年3月9日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式の発行100,300株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ87,200千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における資本金は872,720千円、資本剰余金は919,597千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,899,809	1,071,380	1,234,295	6,205,485	—	6,205,485
セグメント間の内部売上 高又は振替高	187,883	2,447	4,254	194,585	△194,585	—
計	4,087,693	1,073,827	1,238,549	6,400,070	△194,585	6,205,485
セグメント利益	257,337	28,007	84,186	369,531	2,436	371,968

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。